

## 禅学関係雑誌論文目録 (1992年)

著者	論文名	雑誌名	巻-号	発行月
〔思想〕				
秋月 龍 珉	誤解だらけの仏教 (1~2)	大乘禅	811, 813	2, 4
秋月 龍 珉	一禅者の見た「法が露わになるとき」	大乘禅	816	9
東 隆 眞	試論『正法眼蔵』における仏道の体系(3)	駒沢女子短期大学研究紀要	25	3
新井 勝 龍	異類中行について	宗学研究	34	3
粟谷 良 道	『正法眼蔵』における牆壁瓦礫について(統)	宗学研究	34	3
粟谷 良 道	『正法眼蔵』における草木国土論(1)―仏教における草木国土と自然―	曹洞宗宗学研究所紀要	5	3
粟谷 良 道	『正法眼蔵』における尽の思想(5)―特に尽力について―	曹洞宗研究員研究紀要	23	9
伊藤 博之	良寛における仏道と詩歌(上・下)	大乘禅	810~1	1~2
井上 貫 道	今、問われている禅―仏祖正伝の坐禅のゆくえ―	宗学研究	34	3
池田 魯 参	『宝慶記』にみえる「屠所」の語句の解し方について	宗学研究	34	3
池田 魯 参	『法華経』と道元禅師(講演)	駒沢大学大学院仏教学研究會年報	25	5
石井 清 純	道元禅師の仏・菩薩・祖の定義について	宗学研究	34	3
石川 光 学	正法眼蔵における二重否定	宗学研究	34	3
石川 力 山	内山愚童と近代禅思想―戦争・差別・人権に対する仏教者の視座をめぐって―	宗学研究	34	3
石川 力 山	道元禅における『涅槃』の依用について	印度学仏教学研究	41-1	12
石島 尚 雄	十二巻本『正法眼蔵』と「さとり」について	曹洞宗研究員研究紀要	23	9
石島 尚 雄	道元禅師の門下と天台論議	印度学仏教学研究	41-1	12
岩村 康 夫	楊岐方會の家風	印度学仏教学研究	41-1	12
大松 博 典	禅宗の中の法華学	宗学研究	34	3
大峯 頭	無の問題―西谷啓治の宗教哲学について―	宗教研究	292	6
岡島 秀 隆	『永平広録』の世界観	印度学仏教学研究	40-2	3
沖本 克 己	臨濟禅をめぐる断想 (10~13)	禅文化	143~6	1・4・7・10
葛西 好 雄	『永平広録』研究(1)	駒沢大学大学院仏教学研究會年報	25	5
笠井 貞	道元禅師とクザーヌスの信について―比較思想的研究―	宗学研究	34	3

笠井哲	白隠禅の思想的背景	印度学仏教学研究	41-1	12
金子和弘	道元禅師の宗旨と遺事	宗学研究	34	3
鎌田茂雄	剣川石窟の思想的意義	松ヶ岡文庫研究年報	6	3
茅原正道	道元禅における時のつらなり	宗教研究	294	12
川村永子	禅における混沌の問題	花園大学研究紀要	24	3
川村昭光	「眼蔵」のさす外道の制多とは	宗学研究	34	3
熊本英人	『正法眼蔵』『発菩提心』と「発無上心の否定表現	曹洞宗研究員研究紀要	23	9
小林圓照	The Original State Of Nature and its Corruption	花園大学研究紀要	24	3
佐々木俊道	洞門における本覚法門研究の諸問題—『漢光類聚』をめぐる付論—	宗学研究	34	3
佐々木章格	『坐禅用心記不能語』の註釈態度について	宗学研究	34	3
佐藤悦成	『正法眼蔵』『山水経』考	印度学仏教学研究	40-2	3
志部憲一	天桂伝尊と嗣法論—天桂の開山法重視と借住について—	駒沢大学仏教学部論集	23	10
志部憲一	天桂伝尊と嗣法問題—五峰開音と天桂の嗣法について—	印度学仏教学研究	41-1	12
清水光幸	橋田邦彦と『正法眼蔵』	印度学仏教学研究	40-2	3
杉尾玄有	道元禅師と「洞源和尚」—宮沢賢治の、知られざる曹洞禅の開眼—	宗学研究	34	3
杉尾玄有	〔講演〕刹那生滅を生きる	駒沢大学禅研究所年報	3	3
鈴木祐孝	天桂伝尊の研究—天桂派下の著作を通して—	宗学研究	34	3
宋天恩	圓仏教禅思想の基礎	印度学仏教学研究	40-2	3
田原圭介	盤珪禅にみる易行の意味について	宗教研究	294	12
田中常憲	般若の宗旨について	宗学研究	34	3
高橋正己	『正法眼蔵』における「所有」の問題について	宗学研究	34	3
竹内弘道	『伝光録』と『正法眼蔵』(2)	印度学仏教学研究	40-2	3
竹内弘道	『伝光録』と『正法眼蔵』(3)—『伝光録』における心—	宗学研究	34	3
竹内良英	道元の清規の拠り所としてのインド仏教思想—その1、嚼楊枝について—	曹洞宗研究員研究紀要	23	9
玉城康四郎	仏道者道元の死闘(下)—「私」の苦闘—	松ヶ岡文庫研究年報	6	3
辻口雄一郎	『正法眼蔵』における「法」の捉え方について	宗学研究	34	3
角田泰隆	道元禅師と坐禅(1)	宗学研究	34	3
角田泰隆	道元禅師と坐禅(2)	曹洞宗宗学研究所紀要	5	3
角田泰隆	宗門と葬祭—道元禅師の教説と葬祭の接点—	曹洞宗研究員研究紀要	23	9
寺崎敬道	造像の功德について	駒沢大学仏教学部論集	23	10
常盤義伸	「ランカーに入る」菩提達摩と楞伽經	禅文化	144	4

常盤義伸	白隠の「隻手」公案の意義 (2~3)	ブッディスト	40, 41	6, 12
鳥居祖道	不生で生きる (1~10)	大乘禅	810~820	1~12
中条暁秀	金綱集の一考察—第七「禅見聞」について—	印度学仏教学研究	41-1	12
中村唯岳	元朝や廓然無聖 ガスパール	大乘禅	812	3
中村唯岳	米沢地区に於ける両忘禅の系譜 (上・下)	大乘禅	814, 816	6, 9
中野優信	日本仏教における性差別の諸相—曹洞宗の問題を中心に—	曹洞宗宗学研究所紀要	5	3
中野優信	日本仏教における母性観—曹洞宗の伝統的母性観に関する批判的考察(1)—	宗学研究	34	3
中野優信	日本仏教における母性観—曹洞宗の伝統的母性観に関する批判的考察(2)—	曹洞宗研究員研究紀要	23	9
西村恵信	鈴木大拙の原風景 (10~11)	禅文化	143, 6	1, 10
野口善敬	「本来無一物」は外道の法	禅文化研究所紀要	18	5
野銅祖芳	『無門関』参究覚書 (2~12)	大乘禅	810~820	1~12
野銅祖芳	『洞上五位偏正口訣』対比	大乘禅	815	8
長谷部幽蹊	禅における仏心の参究とその具象的表現の様式	日本仏教学会年報	57	5
橋本芳契	西田哲学における真宗義の投映—「宗教論」の序説的一考察—	印度学仏教学研究	40-2	3
原田弘道	身心脱落考	印度学仏教学研究	40-2	3
原田弘道	「身心脱落」話の意義とその歴史的發展	駒沢大学仏教学部論集	23	10
古田紹欽	道元における正法眼蔵の発想とその成案—その七十五巻本を踏えて—	松ヶ岡文庫研究年報	6	3
星俊道	道元禅師の嗣法観	印度学仏教学研究	40-2	3
星俊道	道元禅師の因果観をめぐり一考察	宗学研究	34	3
星俊道	道元禅師における宗教的時間的特質	駒沢大学仏教学部論集	23	10
堀尾孟	西谷先生の参禅	禅文化	144	4
松本皓一	「教育者」型人格における宗教信念と実践の問題—無適・橋田邦彦と『正法眼蔵』—	駒沢大学仏教学部研究紀要	50	3
峰岸孝哉	『正法眼蔵』にみられる外道の語義について	宗学研究	34	3
務台孝尚	道元禅師の修証観—禅師の批判の内容を通して—	宗学研究	34	3
村上俊	存在の根源を求めて	禅文化	144	4
門馬幸夫	宗学と差別—宗典に見られる差別語との関連において—	宗学研究	34	3
矢沢仁	祖師禅に於ける「祖」字の概念について	禅学研究	70	2
安田真乘	民族信仰と宗門の教義	宗学研究	34	3
安田祖心	鈴木大拙はどこにいたか (1~3)	大乘禅	817・8・20	10~12

安本 岱 隆	道元における因果観	印度学仏教学研究	40-2	3
安本 岱 隆	『正法眼蔵』「受戒」の巻をめぐる問題について—特にその位置付けにおける—	宗学研究	34	3
安本 岱 隆	只管打坐考—「自未得度先度他」との関係において—	駒沢大学大学院仏教学研究會年報	25	5
安本 岱 隆	『正法眼蔵』「三時業」の巻の説示において道元禪師の意図されたこと	曹洞宗研究員研究紀要	23	9
安本 岱 隆	『正法眼蔵』撰述において道元禪師の探求され続けたこと—特に十卷二本と鎌倉教化との接点において—	駒沢大学仏教学部論集	23	10
山口 興 順	栄西門流における戒律観について	印度学仏教学研究	41-1	12
山内 舜 雄	『摩訶止観』と『正法眼蔵』	駒沢大学仏教学部論集	23	10
Wayne S. Yokoyama	D. T. Suzuki's Writings in Japanese: A Descriptive Essay and Chronological Bibliography	花園大学研究紀要	24	3
李 乾 照	普照禪師と道元禪師について(1)	禅学研究	70	2
渡部 正 英	『伝光録』についての一視点	宗学研究	34	3

## 〔中国〕

秋月 龍 珉	『碧巖録』を読む(2)	大乘禅	810	1
伊吹 敦	摩訶衍禪師と「頓悟」	禅文化	146	10
伊吹 敦	『大乘開心顯性頓悟真宗論』の依用文献について	印度学仏教学研究	41-1	12
石井 修 道	訳注『裴休拾遺問』(上)	駒沢大学禅研究所年報	3	3
石井 修 道	百丈教団と瀋山教団	印度学仏教学研究	41-1	12
落合 俊 典	興聖寺本『馬鳴菩薩伝』について	印度学仏教学研究	41-1	12
河合 泰 弘	北宗禅と五方便	宗学研究	34	3
河合 泰 弘	『五方便』の成立と北宗禅	駒沢大学大学院仏教学研究會年報	25	5
古賀 英 彦	敦煌本六祖壇経	禅学研究	70	2
佐々木 俊 道	『天台南岳心要』について	曹洞宗宗学研究所紀要	5	3
佐藤 秀 孝	南宋末曹洞禅僧列伝(下)	駒沢大学仏教学部研究紀要	50	3
佐藤 秀 孝	元代曹洞僧列伝(上)—天童山の雲外雲岫について—	駒沢大学仏教学部論集	23	10
末木 文 美 士	『碧巖録』の諸本について	禅文化研究所紀要	18	5
永井 政 之	新出〔船子和尚撥棹歌〕について	宗学研究	34	3
永井 政 之	中国仏教成立の一側面—裁松道者の話の成立と展開—	駒沢大学仏教学部論集	23	10
長嶋 孝 行	惠能伝の発想の一考察	印度学仏教学研究	41-1	12
野沢 佳 美	明代南蔵初入蔵禅籍と定巖浄戒	宗学研究	34	3

長谷川昌弘	密庵咸傑の思想	印度学仏教学研究	40-2	3
長谷川昌弘	南宋における洞済の交渉に関する一考察	宗学研究	34	3
前川亨	耶律楚材論—金朝滅亡期における思想状況と政治状況の牽聯—	駒沢大学禅研究所年報	3	3
村上俊	趙州と信心銘	禅文化研究所紀要	18	5
柳田聖山	『臨済録』と『臨済録抄綱』	禅文化	145	7
柳田聖山	「読む」	禅文化	146	10

## 〔日本〕

秋月龍珉	『宗門無尽灯論』(1~5)	大乘禅	812~4, 3, 4, 6, 817, 820	10, 12
東郁雄	天台小止観と坐禅用心記	宗学研究	34	3
安藤嘉則	雑学事件考—「代り法門」をめぐる—	宗学研究	34	3
伊藤克己	戦国期の寺院・教団と天皇勅許の資格・称号	歴史評論	512	
伊藤克己	中世の温泉と「温泉寺」をめぐる	歴史学研究	639	11
伊藤秀憲	『正法眼蔵聞書抄』口語訳の試み—諸悪莫作(2)—	駒沢大学仏教学部論集	23	10
飯塚大展	『大徳寺夜話』について—養叟会下の記述を中心として—	宗学研究	34	3
飯塚大展	駒沢大学蔵『臨済録抄』について—臨済録の講義と密参との関係を中心—to	曹洞宗研究員研究紀要	23	9
石井清純	新草十二巻本『正法眼蔵』の構成について	印度学仏教学研究	40-2	3
石井清純	乾坤院本「洗面」と洞雲寺本「洗面」について(3)	駒沢大学仏教学部研究紀要	50	3
石川力山	中世仏教における尼の位相について—特に初期曹洞宗教団を中心として—	駒沢大学禅研究所年報	3	3
石川力山	中世曹洞宗切紙の分類試論(9)—参話(宗旨・公案・口訣)関係を中心として(補)—	駒沢大学仏教学部研究紀要	50	3
石川力山	中世曹洞宗切紙の分類試論(2)—儀礼(授・戒・点眼・施餓鬼、その他)関係を中心として—	駒沢大学仏教学部論集	23	10
石島尚雄	詮慧・経豪に関する一考察—特に『聞書抄』・『梵網経略抄』を通して—	宗学研究	34	3
遠藤廣昭	天英祥貞の行状について	宗学研究	34	3
尾崎正善	『昌樹林清規』について—瑩山清規との比較において—	宗学研究	34	3
尾崎正善	『檀樹林清規』に関する一考察—『瑩山清規』との比較において(2)—	曹洞宗宗学研究紀要	5	3

尾崎正善	『昌樹林清規』の『黄檗清規』受容について—『洞上僧堂清規考訂別録』の批判を通して—	曹洞宗研究員研究紀要	23	9
加藤正俊	無著道忠の世系	松ヶ岡文庫研究年報	6	3
河村孝道	新出資料・真字『正法眼蔵』の翻刻・紹介(3)—永昌院本と松源院本について—	駒沢大学禅研究所年報	3	3
熊谷忠興	良寛和尚と大忍について	宗学研究	34	3
熊本英人	『正法眼蔵』「安居」の儀軌	宗学研究	34	3
熊本英人	道元禅師の漢語語彙初稿(序) —金沢文庫本『正法眼蔵』にみる(1)—	曹洞宗宗学研究所紀要	5	3
小坂機融	『正法眼蔵那一宝』稿本『正法眼蔵弁註』について	駒沢大学仏教学部研究紀要	50	3
佐村隆英	曹洞宗と密教—『甘露門』の成立と背景—	宗学研究	34	3
佐藤秀孝	道元禅師在宋中の軌跡	印度学仏教学研究	40-2	3
佐藤俊晃	近世村落社会における修験と曹洞宗寺院	宗学研究	43	3
Jeff Shore	日本の禅と欧米の出会い—歴史的研究	花園大学研究紀要	24	3
志部憲一	天桂伝尊における在家教化	宗学研究	34	3
志部憲一	天桂伝尊と盤珪永琢	駒沢大学禅研究所年報	3	3
志部憲一	天桂の嗣法関係資料—静居寺世代牌問題—	曹洞宗宗学研究所紀要	5	3
管基久子	護国と清浄	国家と宗教		
鈴木秋雄	伝春本『正法眼蔵随聞記』の紹介及び跋語について	宗学研究	34	3
鈴木省訓	月船禅慧伝について—伝記と法系—	宗学研究	34	3
鈴木省訓	『武士禅機縁集』研究序説—武士と禅—	駒沢女子短期大学研究紀要	25	3
鈴木省訓	『教乗公案集』について	印度学仏教学研究	41-1	12
関口道潤	宗源祖師の頂相に就て	宗学研究	34	3
玉村竹二	禅宗史研究六十年(上・下)	日本歴史	526,7	3,4
團野弘之	私のみた正法眼蔵写本における懐英師書写識語の記載について	宗学研究	34	3
直林不退	『元亨釈書』の先行史書観	龍谷史壇	99・100合併	11
永島福太郎	馬郎婦観音信仰と一絲和尚	禅文化研究所紀要	18	5
中世古祥道	道元禅師の遺偈と鎌倉下向の捏造説について	宗学研究	34	3
林董一	近世寺院における本末関係—尾張正眼寺を中心として—	愛知学院大学宗教法制研究紀要	45	7
林屋辰三郎	天龍寺と角倉家	禅文化	143	1
前川万里子	貞閑禅尼にみる不徹庵尼衆の展開	花園史学	13	11
柳田征司	大応派の『臨済録抄』について	松ヶ岡文庫研究年報	6	3

吉田俊英	曹洞宗における秋葉信仰—秋葉信仰史の展開と初期曹洞宗における受容—	宗学研究	34	3
吉田道興	無著道忠筆「永平禅寺三祖行業記」の翻刻・紹介	宗学研究	34	3
吉田道興	道元禅師伝の史料研究—「三大尊行状記」と「三祖行業記」を中心に—	駒沢大学禅研究所年報	3	3
吉田道興	瑩山禅師撰とされる『道元禅師伝』考	印度学仏教学研究	41-1	12
ロバート・ エイトケン	禅のこころ 芭蕉のこころ (完)	禅文化	143	1

## 〔その他〕

S・アンティノフ	無刀両断	禅文化	145	7
青木洋	海へ	禅文化	145	7
荒川元暉	禅と経営について	印度学仏教学研究	40-2	3
伊藤真愚	循環する命 東洋医学の人生観	禅文化	143	1
大槻幹郎	黄檗山紀行 隠元禅師生誕四〇〇年を記念して	禅文化	146	10
沖本克己	電算処理による禅文献研究—その方法的模索—	禅学研究	70	2
勝田哲山	救いとしての坐禅の可能性—坐禅人類学考—	教化研修	35	3
佐久間章他	臆想に関する心理学的研究 (第3報)	駒沢社会学研究	24	3
末吉智員	生命との対話 キネシオロジー	禅文化	144	4
高橋通方	子供たちを救え	禅文化	145	7
高田慧穂	メキシコの達摩	禅文化	144	4
中丸茂他	禅研究への社会心理学的知見への適用	駒沢社会学研究	24	3
中島皓象	禅林墨蹟	日本仏教学会年報	57	5
中野東禅	学生の死接近体験と精神の受容	教化研修	35	3
業室頼昭	現代医学のすきま風 人と医学のかかわり方	禅文化	146	10
深瀬俊昭	高田道見の教化活動について	教化研修	35	3
矢守玄牧	医学と仏教	禅文化	145	7
横井雄峰	正法眼蔵都機の英語的表現について	愛知学院大学語研紀要	18-11	1

## 〔書評・紹介〕

入谷仙介	入矢義高『五山文学』	花園大学研究紀要	24	3
小川隆	柳田聖山 訳注『祖堂集』	花園大学研究紀要	24	3

大槻幹郎	竹貫元勝編著『近世黄檗宗末寺帳集成』	花園大学研究紀要	24	3
岡部和雄	伊藤隆寿著『中国仏教の批判的研究』	駒沢大学仏教学部論集	23	10
鏡島元隆	石井修道著『道元禅の成立的研究』を読む	駒沢大学禅研究所年報	3	3
重松宗育	西村恵信『白隠入門』	花園大学研究紀要	24	3
末木文美士	沖本克己『禅の思想とその流れ』	花園大学研究紀要	24	3
八木誠一	門脇佳吉著『禅仏教とキリスト教神秘主義』	大乘禅	818	11
柳田聖山	中島皓象『書道史より見る禅林の墨蹟』	花園大学研究紀要	24	3

追記；本号の論文目録については、担当者の不手際と怠慢で、きわめて不十分なものになってしまいました。関係各位に御迷惑をお掛けしたことを、深くお詫び申し上げますとともに、収録できなかった論文については、追加分として次号に掲載することで補う所存であります。

担当者 中尾良信 九拜